

令和2年10月6日

## 医薬品包装技術支援センター（改訂）

創包工学会は、(株)イーズの協力のもと、下記のような趣旨で医薬品包装技術支援センター（Pharmaceutical Packaging Technology Support Center）を設立致しました。

### 記

#### 設立の目的

医薬品包装に関わる技術的問題点の解決・技術レベルの向上・技術者育成・包装適正化・生産性向上などを目的とする。

#### 業務内容(概要)

別紙[医薬品包装技術支援センターの業務内容]参照

#### 活動・費用

依頼内容により、秘密保持契約書・見積書などを作成致します。

（秘密保持契約書発行後に内容の詳細打ち合わせを実施）

費用： 1万円/時・人【交通費・宿泊費は別途】

例1 クレーム処理：1人で2～3日程度と予想される。

最大で  $80,000 \times 3 = 240,000$  円程度

例2 データ解析：1人で2日程度と予想される。

最大で  $80,000 \times 2 = 160,000$  円程度

例3 表示に関する相談：1人で2時間程度と予想される。

最大で  $10,000 \times 2 = 20,000$  円程度

#### 問い合わせ先

創包工学会：〒101-0047

東京都千代田区内神田 1-18-11

東京ロイヤルプラザ 717号室

TEL:03-3291-3219

Mail: [gsp14754@nifty.com](mailto:gsp14754@nifty.com)

協力 (株)イーズ：〒104-0033

東京都中央区新川 1-6-11-1102号

Mail: [info@ease.jp](mailto:info@ease.jp)

以上

## 医薬品包装技術支援センターの業務内容

### 1. 業務内容

カテゴリー	
法的規制	表示・識別を含む
包装形態・容器 (個装～梱包)	包装技法 情報伝達
製造	機械及び機械適性 新技術
製品	品質 使用性 クレーム・改善要望
流通	保管・輸送 流通システム
SDGs (環境)	廃棄処理性 材質適性
共通化	
共同開発	
技術サービス	文献・資料 データ解析
その他	関連事項

### 2. 詳細

詳細については、下記にお問い合わせください。

株式会社  
創包工学研究会

info@ease.jp.com  
gsp14754@nifty.com

医薬品包装は次のように極めて複雑です。  
問題に応じてフレキシブルに対応します。

包装内応物	固形剤・注射剤・半固形剤・特殊製剤他
基本的材料	プラスチック・ゴム・ガラス・金属・紙他
業務内容	デザイン・表示・識別・品質保持・試験法・ 材料物性・包装機械・安定性・製造ライン・ IoT・連続化・バリデーション・使用法・ 流通・保管・廃棄処理性・SDGs他

以上

令和元年 8 月 8 日

医薬品包装技術支援センター

医薬品包装技術支援センター問い合わせ票

氏名		
企業名		
所属		
電話番号		
Fax 番号		
Mail Address		
住所		
現 状	包装形態 材質など	
	問題点 または 解決したい こと	
その他		